

外観



地下1階、地上6階建ての校舎。地下1Fに講堂兼体育館、1Fにプールと武道場、3Fに昇降口と運動場がある。写真は南方向からの撮影。

トイレ入口



フローリングや木製のトイレサインが温かみのある空間を演出。フロア案内サインは、各フロアごとに色分けされている。

特別支援学級前トイレ



特別支援学級前に「みんなのトイレ」を2ヶ所設置。大便器や小便器には手すりを設置、小柄な児童に配慮して幼児用便座も備えている。トイレの横には、粗相をした場合に備えてシャワールームを併設している。

ランチルーム



食育に力を入れていることもあり、一番見晴らしの良い6Fにランチルームを設置。洗面コーナーでは、一度に多くの児童が手を洗うことができる。水栓金具は、感染予防対策として自動水栓を設置している。

小学校 男子トイレ



児童たちに人気のアイランド型の洗面コーナー。水栓金具は、ノンタッチで水の出し止めができ、衛生性に優れ、止め忘れのない自動水栓を設置している。

小学校 女子トイレ



大きな開口の窓から自然光が射し込む明るく広々としたトイレ空間。大便器ブースには、立ち座りをサポートするL型手すりのほか、小柄な児童に配慮して、幼児用便座を設置している。

給食室 トイレ



衛生面に配慮してトイレ内に手洗器を設置し、自動水栓・水石けん・消毒液などを備えている。トイレの前室には、肘まで洗うことができる洗面器を設置している。

体育館 トイレ・シャワー室



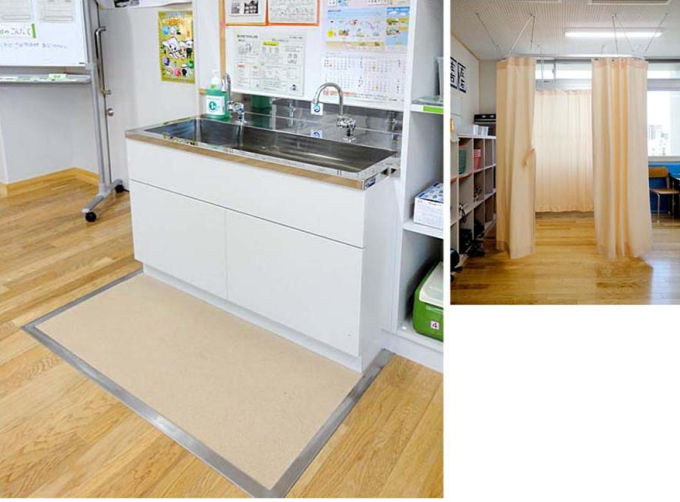
スポーツ後の汗を流すためにシャワー室を設置。オストメイト対応トイレバックや、カーテンで仕切られたシャワーコーナーを備えた「みんなのトイレ」も設置している。

みんなのトイレ



車いす使用者や小さなお子様連れ、オストメイトの方などさまざまな使用者を想定して、オストメイト対応トイレバックやベビーチェアなどを備えている。

特別支援学級



特別支援学級の児童の中には教室から外に出ない子どももいるため、教室内に手洗コーナーを設け、カーテンで仕切られた着替えコーナーも用意している。

建築概要

名 称	福岡市立住吉小学校・住吉中学校
所 在 地	福岡市博多区美野島3丁目22番7号
施 主	福岡市
設 計	<基本> 梓・九州都市整備設計JV <実施> 回・舩本設計業務JV
建 築 施 工	清水・菱興・西鉄・占部・東部建設工事JV
竣 工 年 月	2015年3月

水まわりの特長

<施設の概要>
住吉小・中学校は、「小学校の小規模化」や「施設の老朽化」、ならびに「当該ブロックにおける中学校が校区外にある」という問題を解決するため、福岡市博多区にある3校(住吉小学校・美野島小学校・住吉中学校)を統廃合し誕生した小・中連携校。小・中学生が同じ校舎で勉強する「施設一体型」として、2015年美野島小学校跡地に開校した。校舎は、地下1階、地上6階建ての鉄筋コンクリート造で、延べ床面積は約24,000㎡。都市部の限られた敷地を有効活用するため、1Fにプールやエントランス広場、3Fにグラウンド、地下1Fに講堂兼体育館を設けるという校舎構造を特色としている。

<トイレの特長>
従来の5Kトイレ(臭い、汚い、暗い、怖い、壊れている)を解消する、明るく清潔感のあるトイレ空間を目指し、清掃方法を湿式清掃から乾式清掃に変更、大便器はすべて洋式便器を採用している。また、小学校のトイレは小柄な児童に配慮して、幼児用便座設置を標準仕様になっている。そのほか、地域や保護者の利用も考慮して、各フロアに「みんなのトイレ」を設置。フロアごとに設備を変えることにより、みんなのトイレの機能分散化を図っている。